

植民地主義・人種差別に一石を投じた大東亜戦争

田母神論文を最初に見たとき、私が一番気に入った部分があります。
>さて大東亜戦争の後、多くのアジア、アフリカ諸国が白人国家の支配から解放されることになった。人種平等の世界が到来し国家間の問題も話し合いによって解決されるようになった。

それは日露戦争、そして大東亜戦争を戦った日本の力によるものである。もし日本があの時大東亜戦争を戦わなければ、現在のような人種平等の世界が来るのがあと百年、2百年遅れていたかもしれない。そういう意味で私たちは日本の国のために戦った先人、そして国のために尊い命を捧げた英霊に対し感謝しなければならない。<

同じような文章を見た記憶があるので彼独自の記述ではありません。しかし、私が時々「日本はノーベル平和賞を国家としてまとめてもらっても罰は当たらない事をしたのだ」というコメントするのは正にこの事を言っているのです。まあ、自虐史観の好きな左翼の方はヒステリーを起こすでしょうが。

今回、プロフィールに「この大戦は植民地主義に終止符を打ち、白人と有色人種との平等をもたらし、世界連邦の礎石をおいた(英国人作家H・G・ウェルズ名越二荒之助著・世界からみた大東亜戦争 展転社)を掲げたのも、このことをイギリス人作家も認めた事をお伝えしたかったからです。

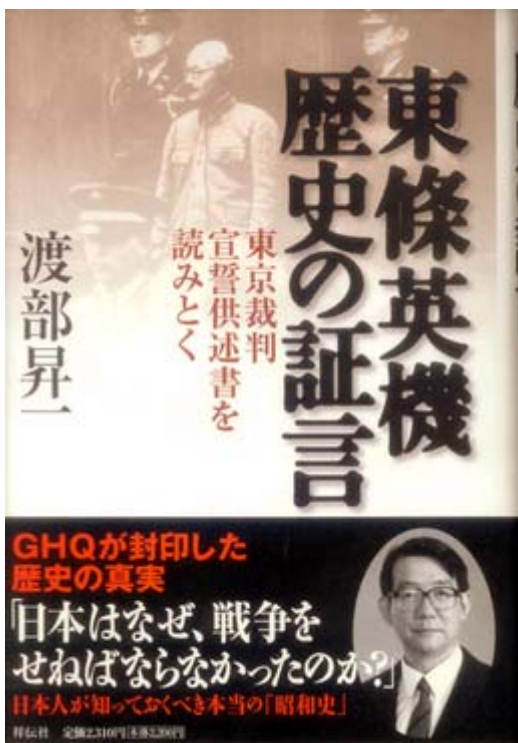
そこで今回と次回は、東京裁判で東條英機は宣誓供述書で何を語ったのか、唯一の貴重な一次資料である「東條英機 歴史の証言」(渡部昇一著 祥伝社刊 定価2310円)の中から、満洲事変と支那事変の部分をご紹介します。この辺を語らせたなら渡部昇一氏の右に出る方はいないでしょう。詳しくは本書を見て頂くとして、東條英機が東京裁判で語ったことを、渡部氏が解説している部分です。

「何を今更」、「興味がない」、と言う方は飛ばして下さい。前置きが長くなって長文になってしまいました。非常に判りやすい解説なので是非おつきあい下さい。軍部が独走した「満洲事変以降の日本が悪い」、と言う方があまりにも多いので、この部分をあえて選びました。

満洲事変・支那事変にいたる道

ここでは、昭和12年(1937年)、支那事変勃発(7月7日)のちょうど一カ月前(6月9日)に東條さんが打った電報のことが問題にされています。これは傍点を振ったところと振っていないところの差を見ればわかるのですが、「対ソの作戦に関し」と「対ソ作戦準備の見地より」とでは、軍事上、全然意味が違います。それから「南京を攻撃し」と、「南京政府に一撃を加え」では、また話が違います。検察はこれをもって、日本が早くから南京攻撃を企てていたとしたかっただけですが、これはこじつけがすぎるといえるもので、東條さんも、そこをついています。

当時ソ連は第二次五カ年計画を終了し、短期間に満洲及び蒙古周辺に20個師団を動員する体制を整えたと言われました。しかもその主力は機械化部隊および毒ガス部隊であって、日本軍はそれを非常に恐れていました。満洲に駐留していた日本軍は、満洲事変(昭和6年—1931年)のときでたったの約一個師団です。機械化されたソ連の20個師団および毒ガス部隊などに対抗できるものではありませんから、東條さんが関東軍参謀長として非常に心配して作戦準備の意見を述べたのは当然のことでした。



近現代史を勉強する上で欠かせない一冊です。

そもそも参謀というのは、あらゆる事態を想定しておかなければならないのであって、司令官が命令するのは全然話が違います。いまでも、たとえばアメリカならば中国を全滅させる方法を参謀は練っているでしょうし、中国も同様でしょう。しかし参謀はそれが仕事で、そうして出来上がったプランを採用するかしないか、発動するかしないかは、まったく別の話です。

ここで述べている「対ソ作戦準備」についても、日露戦争以前までさかのぼらないと、このあたりの状況はよく理解できないと思います。

明治33年(1900年)に北清事変という事件がありました。これは清の義和団の乱において、北京にいた各国の居留民が、乱に参加した清国兵に囲まれて皆殺しにされかけた事件です。各国がその救助に軍を出しましたが、その中心となって北京を解放したのは日本でした。そのときロシアも大軍を派遣しましたが、乱の鎮定にろくに役に立たなかったにもかかわらず、その大軍は平定後も満洲の地に居座って、引き上げの約束になかなか応じませんでした。そればかりかどんどん兵力を増やして、事実上、満洲はロシア領同然となりました。

日本は抗議しましたが聞き入れられない。それで、満洲は仕方がないにしても、せめて朝鮮までは出てきてくれるなと頼んだのです。しかしロシアはそれも無視して北朝鮮の港に軍港をつくり、さらに北朝鮮の鉱山発掘権や森林伐採権を握り、さらに日本の壱岐・対馬と目と鼻の先の鎮海湾に軍港を建造するなどという話まで出てくる始末です。これらが積み重なって日露戦争が勃発したわけです。

その時点で満洲は、事実上、完全なロシア領になっていました。それを証明するのは、当時の清朝の役人が満洲に行くときは、ロシアの官吏の許可を必要としたことです。またイギリスのキリスト教団は満洲にも布教していましたが、その布教団はロシア布教団に属していたのです。

日露戦争で、日本は満洲からロシア軍を追い払い、清国に返してあげました。そしてロシアが持っていた南満洲鉄道の権利や、遼東半島の租借権なども譲り受けます。このあたりまことに日本は紳士的でした。本当のことを言えば、日露戦争のころにロシアと清国には秘密軍事条約があったので、それがわかっていたら、日本は清国に満洲を返す必要はなかったのです。

しかし日露戦争以後、満洲は平穏な状態でした。むしろ日本とロシアは仲良くなっていた。そして南満洲鉄道と並行して鉄道を敷こうと考えたアメリカの勢力が伸びるのを両国が手を組んで抑えるなど、結構な状況でした。そして満洲もよく治まっていたから、膨大な数のシナ人が満洲に流れ込んでいました。それまで満洲は「封禁の地」と言われて、漢民族、モンゴル人、朝鮮民族などの周辺異民族の移住・侵入は許されませんでした。そうした状況も、宥和的方向へと変わっていたのです。

そのまま行けば「めでたし、めでたし」だったのですが、それを一変させたのが大正6年(1917年)に勃発したロシア革命でした。ソ連が成立し、共産党政権となり、さらにコミンテルンもできると、コミンテルンの勢力はシナ大陸と満洲に入り込み、シナ民族の民族意識を煽って反日運動を使倣(しぞう)するという事態になりました。その反日運動はどんどんと激しさを増し、シナ大陸における情勢は非常に不穏なものになっていきました。住んでいる日本人が、しば

しば生命を脅かされるといいうことが起こってくるのは、すべて[ロシア革命](#)以後の状況だったということをわれわれは忘れてはいけないと思います。

元タイ国大使であった岡崎久彦氏は、当時のシナ人による反日運動を[アメリカ](#)人に説明するには、[パレスチナ](#)における「インティファダー」（イスラエルの占領地における[パレスチナ](#)民衆の一斉蜂起）を持ち出すと、理解してもらえると述べています。事実、シナ人は日本の店からは物を買わない、日本人の子弟は危なくて学校に行けない、あるいは日本人に土地を売ったシナ人は死刑になるなどといった、信じられないような妨害が、頻繁に行なわれるようになっていました。

そして昭和3年(1928年)4月に済南事件が起きます。日本軍は北伐を再開した蒋介石の動きを受け、済南の在留邦人を守る防衛準備を整えていたのですが、その防衛を解いたところ、日本人に対する虐殺が起こりました。

またその前年に起きた南京事件では、コミンテルンの[ボロ](#)ジンの指揮を受けた[中国](#)国民革命軍が南京の外人居住地区である[租界](#)を襲いました。そのとき、揚子江にいた[イギリス](#)や[アメリカ](#)の軍艦は砲撃しましたが、当時の若槻礼次郎内閣の[幣原喜重郎](#)外相は徹底的な[平和主義](#)者で[中国](#)不干渉を唱え、砲撃を禁じていたので、日本の軍艦は砲撃もできず、なんら攻撃を加えませんでした。そのため日本の領事館は徹底的に荒らされ、婦女子たちは辱めを受け、そうした事態をみすみす見過し、在留邦人を守れなかった責任をとって、軍艦「檜」から名ばかりの兵員とともに派遣されていた荒木亀雄海軍大尉は、軍艦「利根」に戻ってから自決をはかっています。当時のシナでは、そのようなことがコミンテルンの指令の下に頻々として起こっていたということが重要です。

このようなコミンテルンの指導下で、ナショナリズムに煽られたシナ本土の状況は、日露戦争以後、日本の治安維持力によって平和と安定を享受していた満洲にも悪影響を及ぼし始めていました。（以下次号に続く）

カテゴリ: [コラム](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(8\)](#)

タグ: [渡部昇一](#) [日露戦争](#) [大東亜戦争](#) [植民地主義](#) [人種差別](#) [田母神論文](#) [満州事変](#) [支那事変](#)

コメント(8)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [花うさぎさん](#)
・お知らせです(関西版)

2008/11/08 08:23

改革クラブ 結党・決起集会

日 時：平成20年11月15日(土)19:00~20:00(18:30開場)

場 所：堺市教育文化センター [ソフィア](#)堺 大ホール

<http://www.sofia-sakai.com/>

大阪府堺市深井清水町1426 TEL:072-270-8110

弁 士：西村真悟(改革クラブ[衆議院](#)代表)、

渡辺秀央(改革クラブ代表)、

荒井広幸(改革クラブ[幹事長](#))、

大江康弘(改革クラブ[総務会長](#))、

松下新平(改革クラブ組織委員長)

参加費：無料(事前予約の必要はありません)

問い合わせ：西村真悟事務所 TEL:072-277-4140

* 駐車場に限りがありますので、電車・バスなどをご利用下さい。



Commented by [花うさぎさん](#)
・お知らせです(関西版)

2008/11/08 08:25

<緊急懇談>中山成彬前国交相と!

「真・保守市民の会」関西会員の皆さんへ

11月15日・土曜日午後12時30分より2時間程度、園児たちに教育勅語を暗唱させる事有名な私立・塚本幼稚園幼児教育学園にて、日教組との闘いを表明した中山成彬前国交相と懇談出来る事になりました! 直接対話の機会は減多にありません。

塚本幼稚園幼児教育学園……大阪市淀川区塚本1丁目6-25、[JR](#)東海道本線「塚本」駅(大阪駅の次)東口より徒歩5分。

当日14時30分より16時30分まで中山代議士の講演会があります。
ご参加いただける方はwebmaster@shinhoshu.comまでご一報を。



Commented by **すすめめだかさん**

2008/11/08 09:08

田母神論文、私が気に入ったのは冒頭の在日米軍を使い昔の状況を説明する部分です。

昔のように**徴兵**で身近に軍経験者がいるのと違い、テレビや映画で見た軍隊状況をそのまま受け入れ、その思考で軍人は悪人と刷り込みが入っている現代、それを解く為にこれは理解し易く続く文章を読む気にさせる力があると思えます。

次号楽しみです。



Commented by **花うさぎさん**

2008/11/08 10:22

To すすめめだかさん おはようございます。

> 田母神論文、私が気に入ったのは冒頭の在日米軍を使い昔の状況を説明する部分です。

この導入部はうまいですね。最初の五行だけで言わんとするところが伝わってきます。

> 昔のように**徴兵**で身近に軍経験者がいるのと違い、テレビや映画で見た軍隊状況をそのまま受け入れ、その思考で軍人は悪人と刷り込みが入っている現代、それを解く為にこれは理解し易く続く文章を読む気にさせる力があると思えます。

そうか、何の抵抗もなく一挙に全文を読めたのはご指摘の「理解のしやすさ」が大きいかも知れません。

・ネットで見つけました(^^)。

軍人さんを尊敬する国民。パドワイザーのCM

<http://jp.youtube.com/watch?v=eTxT7feUIPg>

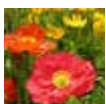


Commented by **hoihoihoiさん**

2008/11/08 17:44

花うさぎ様

とても簡潔明瞭にまとめたエントリーです。英国のインドに対する蛮行など有色人種に対する圧制は眼を覆うものがありました。次回をも楽しみに期待しております。



Commented by **相模さん**

2008/11/08 21:01

自虐史観は日本の近代史の定位置となっています。義務教育では99%がそうでしょう。異論が許されない見解はもうやめて貰いたい。それこそ**北朝鮮**と同じです。



Commented by **花うさぎさん**

2008/11/08 22:37

To hoihoihoiさん こんばんわ。

> 英国のインドに対する蛮行など有色人種に対する圧制は眼を覆うものがありました。

唯一神を信じる白人世界では「異教徒は同じ人間ではない」、という理論が通用した時代があったのですね。今の段階で聞いてみたいですね。」



Commented by **花うさぎさん**

2008/11/08 22:40

To seelischさん

> 異論が許されない見解はもうやめて貰いたい。それこそ**北朝鮮**と同じです。

本当ですね。

一方的にレッテル張りするマスコミにこそ声を上げるべきでしょう。